

紙面から

- 意欲ある職員を募集します! ……2
- 乳幼児医療助成
3歳までは所得制限がなくなります ……4
- 新選組フェスタin日野8月のご案内 ……6・7
- 国道20号日野バイパスが
国立府中インターに直結 ……10
- 放置自転車追放特別対策を実施します ……12

広報
第1092号

毎月1日・15日発行 ■発行/日野市 ■編集/企画部市長公室

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-385-1111(代)

平成16年 2004 8/1



出産・育児への不安を解消!

親子ふれあい事業を推進

親子ふれあい事業は、妊娠期の夫婦のふれあいや、出産後は親子のふれあい等を通して、だれもが安心して出産・育児ができるよう応援してまいります。

安心して妊娠・出産するための支援としては「ママ・パバクラス」、子育て中の親への支援、またお子さんの健やかな発育・発達のための支援として、「赤ちゃん訪問」や「はじめまして健診」「ブックスタート」を、市では今後さらに充実させていきます。



絵本の読み聞かせて親子のふれあい

不安な妊娠期を地域で支えます

「ママ・パバクラス（両親学級）」では、これからお母さん、お父さんになる方が妊娠期の過ごし方、赤ちゃんが生まれてからの生活について学んだり、先

赤ちゃん訪問で育児の悩みを解消

赤ちゃんと訪問（新生児訪問）では、全戸訪問、希望者には複数訪問に取り組んでいます。子育ての不安が強いこの時期に、助産師・保健師がご家庭を訪問し、お母さん、お父さんが安心して育児ができるよう、育児の悩みや相談にのっています。新生児訪問をまだ利用されていない方は、健康課へご連絡ください。

親子のふれあいを応援していきます

「はじめまして健診（3〜4カ月児健康診査）」では、医師会の協力により、お母さん、お父さんへきめ細やかな相談・指導を行い、お子さんの発育や子育てへの支援を充実させていきます。

8月7日の市役所の土曜窓口はお休みです。詳しくは2面をご覧ください。

問合せ先
健康課
(☎581・4111)

ブックスタート参加者の感想

- 絵本の読み聞かせを実際に行ってもらって勉強になりました。
- 親子ふれあい事業にたくさん参加したいので、ひんぱんに開いてください。
- 本が好きな子になってほしいと思います。

また、はじめまして健診終了後の交流会で、「ブックスタート」を始めました。これは、乳幼児期の読み聞かせのための絵本をお渡しし、絵本を通してお子さんとゆったりとした時間を過ごしていただく機会を増やしていくものです。絵本を読み聞かせることで、乳幼児期のお子さんの情操発達を図るとともに、「親子のふれあい」を進めていきます。

絵本を通して親子のふれあいをさらに深めていただくため、図書館で行っている「おはなし会」（毎月1日号広報でお知らせ）を紹介していますが、多くの方が、ぜひ図書館の「おはなし会」に参加してみたいと答えています。

市ではこれからも、妊娠から出産・育児まで、だれもが安心して子育てできる環境作りを進めていきます。

8月は終戦の月。日本中が戦争や平和について思いを新たにす月です。私も、戦死した父を偲びながら、なぜ日本はあれほど無謀で悲惨な戦争をしてしまったのか、と考えます。長期にわたる戦争の結論として、約30万人の日本人が死んでいるのです。

半藤一利さんの「昭和史」を読みました。満州事変の少し前から敗戦に至る20年間について、15回の講義として語った内容をまとめた名著です。

半藤さんは言います。歴史に学べとはよく言われるが、あの長い戦争の歴史は、どのような教訓を示しているだろうか。私たちはそれを正しくきちんと学ばなければいけない。

① 国民的熱狂を作るな
② 最大の危機において、観念論に陥るな。具体的・理性的な方法論を検討するべし
③ 日本型タコソボ社会における小集団主義の弊害
④ 国際常識を理解し、国際社会における日本の位置づけを把握せよ
⑤ 短兵急な発想が多く、時間・空間的に大局観がない。複眼的思考ができない
⑥ まずくいついた時の底知れぬ無責任

平成の時代が固まりつつある今の日本にも、しっかりとあてはまる。心して学ぶべき教訓でしょう。

わが家の孫娘も2歳。彼女たちの青春が平和であるよう、自治の現場で努力いたします。

日野市長
馬場弘社

平和を続けるために